

公開臨海実習実施要項

1 授業科目:生物学公開臨海実習

2 担当教員:中野 裕昭 (筑波大学 准教授)

3 実施場所:筑波大学下田臨海実験センター

〒415-0025 静岡県下田市5-10-1

電話 0558-22-1317 Fax 0558-22-0346

<https://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>

4 実施期間:令和8年8月3日(月)～同年8月7日(金) 5日間

5 対象学生:学部生(2-4年)

6 定員:14名

7 実習タイトル:「伊豆半島沿岸の生態と多様性」

8 実習内容:

伊豆半島は東岸に相模灘、西岸には駿河湾があり、そのいずれも海岸付近の浅海から急激に水深が深くなり、沿岸域で200メートルを超える深海に達する。このように近い距離にある2つの海域であるが、伊豆半島を挟んでいること、黒潮から受ける影響に差があることなどから、同じ水深域でも異なる生物が生息していることが明らかになっている。

下田臨海実験センターは伊豆半島の先端近くにあり、センターの研究調査船「つくばII」により、伊豆半島の東岸と西岸、いずれも調査することが可能である。この実習では、下田臨海実験センターとつくばIIを利用し、相模灘と駿河湾、および浅海と深海という異なった海域の生態系・生物多様性の共通点・相違点を理解すること、そして海産動物の採集法と観察法を習得することを目指す。

9 実習内容キーワード:生物多様性、系統進化、生態系、ドレッジ、磯採集

10 受付：令和8年8月3日（月） 16:30～17:00

筑波大学 下田臨海実験センター 事務室

受付時間は厳守してください。遅れる場合には、連絡願います。

11 実習日程：

2026 年 8月3日（月） 午後5時までにセンター宿舎集合、ガイダンス、夕食、入浴等

8月4日（火） 伊豆半島西岸沖でのドレッジ調査、ソーティング、生物観察

8月5日（水） 伊豆半島東岸沖でのドレッジ調査、ソーティング、生物観察

8月6日（木） 磯採集、生物観察

8月7日（金） 朝食、清掃、午前中に解散

* 天候や潮汐によって日程の変更がある。

朝食	実習	昼食	実習	夕食、入浴	講義、実習
7:30	9:00	12:00	13:00	17:00	20:00

12 参加費用:宿泊費及び食費(4泊5日、11食分) 8,400 円

※当日、受付時に納入願います。（交通費は各自負担）

13 提出書類：

- (1) 特別聴講学生受入依頼書（別紙様式）
- (2) 履修届（別紙様式）
- (3) 学生教育研究災害傷害保険の加入証明書または保険料分担金の領収書(写)
- (4) 安全管理等のための調査票（別紙様式）

14 授業料の徴収：不徴収

（各大学から理工情報生命学術院長宛てに指定の履修届：上記(2)を提出してください）

15 申込み先:〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境エリア支援室学群教務 電話 029-853-4574

16 受付締切日:令和8年6月15日（月）（必着）

17 受講生選抜基準:書類選考

18 選抜結果連絡方法:在籍する大学を通して本人に連絡します。

19 下田臨海実験センターまでの順路:

伊豆急行線『伊豆急下田』駅下車、徒歩約30分、タクシーでは約5分。バスでは駅前のバスターミナルより石廊崎・下賀茂方面行きで約5分、『鍋田口』で下車して徒歩約5分。

20 持参品:

[実習用具]使い慣れたものがあればピンセットや柄付き針などの観察用具(なければセンター常備のものを使う)、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、ケント紙(A4 20枚程度)、ノート、可能ならノートPC

[日用品・衣類など]洗面用具、タオル、ちり紙、常備薬、替衣、帽子、室内用上履き(スリッパ、サンダル等)、軍手、磯履き(古いスポーツシューズなどを用意。サンダルは不可)、カッパ(多少の雨でも野外活動や船上作業を行うので用意すること。傘は不可)、学生証、健康保険証、1回毎の小袋入りの洗濯用洗剤など。船に酔いやすい場合は、酔い止め。

[服装等についての注意]磯採集では滑りやすいので地下足袋、磯足袋が良いが、水に濡れてもかまわない履き古した運動靴でも良い(ビーチサンダル、クロックスは危険である)。ドレッジ採集では、船上での作業があるので、滑りにくい履物と(船上でもビーチサンダル、クロックスは危険である)、海水に濡れても大丈夫な防水効果のある上下を身にまとう。(なければセンター常備の長靴、マリンシューズ、カッパを使う)

21 注意事項:

- 1) 事前に受講を取消す事態になった場合には、7月28日(火)までに連絡願います。
- 2) 病気などのため参加できなくなったとき、また事故などのため集合時間に遅れそうなときは、直ちにセンター事務室に連絡すること。その時は、所属と氏名をはっきりと告げること。
- 3) 現地までの交通手段には公共交通機関を利用すること(自動車、バイクなどの使用は厳禁)
- 4) センターでは時間を厳守し、規則正しい生活をする。また他の研究者の迷惑にならぬよう静粛に、朝8時前と夜10時以降の宿泊棟では特に静かに。
- 5) センター利用規則を守ること。不明の点は教員やTA、センター職員に尋ねること。
- 6) 貴重品は、身につけるか、まとめてセンターの事務室に預ける。
- 7) 洗濯機・衣類乾燥機は、宿泊棟に設置してあります。洗剤は各自持参してください。
- 8) 海は危険な場所です。磯で転倒したり波にさらわれたりしないよう各自十分に注意すること
- 9) 実習中は熱中症にならないように十分気をつけること(帽子の着用、水分補給など)
- 10) 期間中、緊急の場合を除き電話の取次ぎはいたしません。

22 連絡先: 下田臨海実験センター(事務室) TEL:0558-22-1317 (平日 9 時-17 時)

中野裕昭: h.nakano@shimoda.tsukuba.ac.jp

23 お願い:

実習中の写真をセンターや学類、大学などの web ページやポスターなどに使用する可能性があります。写真の公開に問題のある方は事前に申し出てください。

※筑波大学の学類生・大学院生で受講を希望する者は詳細を確認のうえ、最初に6月8日(月)までに 氏名、所属、学籍番号を下記へメールすること。希望者が多い場合には受講できない可能性もある。

問い合わせ先: h.nakano@shimoda.tsukuba.ac.jp (中野)